

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成27(2015)年2月1日発行(第169号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

高松市こども未来館(仮称)等

松島町の市民文化センター跡地に、高松市こども未来館(仮称)、平和記念館(仮称)、男女共同参画センター、図書館の地域館を集約した7階建ての複合施設の整備が開始され、平成28年11月の開館を目指しています。施設には、プラネタリウムや科学展示室などが設置されるほか、子育て支援機能の充実を図るなど、子供を中心として幅広い世代の人々が交流できる施設としての活用が期待されます。



上:高松市こども未来館(仮称)等の完成模型 左下:プラネタリウムのイメージ図
右下:本市出身の現代美術家、川島猛氏がデザインしたエントランスのイメージ図

平成26年
12月定例会

冬号

目次

- 代表質問 …… 2～4
- 一般質問 …… 5～6
- 高松市議会基本条例ほか …… 7
- 情報BOX …… 8

定例会の日程

- 12月5日 開会・決算審査特別委員長報告・採決・提案説明・閉会中継続調査報告
- 10・11日 代表質問
- 16日 一般質問
- 17日 一般質問・特別委員会審査
- 18日 常任委員会審査
- 22日 委員長報告・討論・採決・追加議案提案説明・採決・閉会

今定例会で決まった主な内容

平成26年第6回高松市議会定例会は、12月5日から12月22日までの18日間の日程で開かれました。
今定例会では、平成25年度一般会計・特別会計歳入歳出決算など4件を認定するとともに、平成26年度一般会計補正予算など40議案と議員提出議案1件を可決・承認しました。また、陳情7件を不採択としたほか、人事案件1件に同意しました。

〔市長提出議案〕

● 補正予算

- ▽コトデン瓦町ビルの利活用により、中心市街地南部地域の活性化等に資するための予算
- ▽少子化対策、母子保健及び子育て支援事業の実施に当たり、新たな基金を創設するための予算
- ▽道路法施行規則の一部改正に伴い義務づけとなった橋梁点検を実施するための予算

● 条例

- ▽通院医療費の助成対象を小学生まで拡大するための条例改正
- ▽市場の活性化を目的に、高松市中央卸売市場花き部を地方卸売市場へ転換するための条例制定

● その他

- ▽高松市総合体育館ほか37施設の指定管理者として公益財団法人高松市スポーツ振興事業団を指定したほか、2件の指定管理者を指定

〔議員提出議案〕

● 条例

- ▽議会がその機能を発揮し市民福祉の向上等に寄与することを目的に、議会及びその構成員である議員の活動指針を定めるための議会基本条例の制定

代表質問

各会派を代表して、森川輝男（自民党）・三笠輝彦（同志会）・吉峰幸夫（補選）・春田敬司（公明党）の4人の議員が質問しました。

質問の主な内容

森川輝男議員（自民党）
政治姿勢・行財政・まちづくり・防災・農業・保健衛生・福祉・新病院・教育

三笠輝彦議員（同志会）
政治姿勢・地域行政組織再編・財政・福祉・子ども子育て支援新制度・観光振興・中央卸売市場など

吉峰幸夫議員（補選）
政治姿勢・新電力の利用・子供の貧困・コンプライアンス推進施策・公契約条例・空き家対策など

春田敬司議員（公明党）
政治姿勢・地域コミュニケーション振興・コンパクトシティづくり・地域包括ケア・若者支援体制の充実など

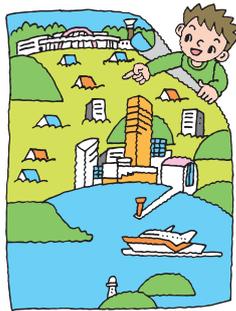
政治姿勢

市長選出馬表明

「創造性豊かな海園・田園・人間都市」実現のため、来春の市長選に立候補

質問 これまでの行政手腕と情熱を持って、市長が引き続き円滑な市政運営を担うことを期待しているが、来春の市長選出馬の考えは。

【自民党】市民は、市長のこれまでの市政運営で示された情熱を高く評価し、今後まちづくりに取り組みことを期待しているが、来春の市長選出馬の考えは。【同志会】今定例会で表明された、来春の市長選への出馬に当たっての決意は。【補選】人口減少などの課題が山積する中、来春の市長選出馬への決意は。【公明党】



答弁 来年度は、合併10年目となる節目の年度であることに加え、第5次総合計画の最終年度でもあり、その総仕上げを行うとともに、未来へ向けた新しい総合計画を策定する重要な年である。

また、屋島の活性化等を含む観光振興、創造都市・健康都市づくりなど、引き続き取り組むべき懸案事項も多く、マニフェストに掲げた創造性豊かな海園・田園・人間都市の実現も、いまだ道半ばであり、これらが非常に重要な時期である。

そこで、来春の市長選挙に立候補し、市民の支持と理解が得られれば、引き続き、市政のかじ取り役の重責をしっかりと担っていきたい。

行財政

水道事業の広域化

平成27年度に設立予定の香川県広域水道事業体設立準備協議会（仮称）へ参加

平成26年10月に、県と県内16市町で構成する香川県広域水道事業体検討協議会で、各自自治体の水道事業を一つに統合する広域化の方針を決定しました。

質問 人口減少による水道料金の減収が想定されるとともに、高度成長期に整備された水道施設が更新時期を迎える中、広域化への基本的な考えは。

【自民党】本市の水道料金は県下でも低料金であり、健全な経営がなされている中、統合すべきと考えた理由は。

【同志会】本市の水道部門と下水道部門の統合による成果が、広域化により分断されることは避けるべきだが、広域化への今後の対応は。

【公明党】



香川県広域水道事業体検討協議会の様子

答弁 水道事業の広域化を抑制するもので、施設や人材面等で大きな効果があり、また、渇水時にも香川用水の柔軟な運用等により

安定給水が可能になる。一方、下水道事業は、広域水道事業の企業団では運営をしないが、窓口サービス等の一元的な処理が可能な業務は、同企業団に委託し実施できる。

これらを考慮した結果、水道事業の広域化は極めて重要と判断し、27年度設立予定の香川県広域水道事業体設立準備協議会（仮称）へ参加する方向で対応する。

効率的な事業運営に取り組み平成33年度まで水道料金の値上げをしないよう努める

質問

【同志会】本市の上下水道事業基本計画では、平成33年度まで水道料金値上げをしないとしている一方、県と県内16市町から成る香川県広域水道事業体検討協議会の取りまとめ案では、30年に値上げをするようになっているが、大丈夫か。

【補選】

答弁

【公明党】同案で示された料と単独経営の違いを明確にするため、一定の条件のもとで想定したので、高くなっている。引き続き、効率的な事業運営に取り組み、基本計画に定める33年度までは、値上げをしないよう努める。

地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善

現行制度を検証し、適切な任用・勤務形態等を検討

質問

平成26年7月に総務省は、地方自治体における臨時・非常勤職員等の任用に関して、職務内容が、「一般職員と同ー」や「労働者性が高い」場合などには、一般職として任用すること等を内容とする通知を出した。

同通知を受けての本市の取り組みは。

【市民会】

答 併 現行の臨時・非常勤職員の任用制度の検証を行う中で、同通知の留意事項を踏まえ、実態に即した適切な任用・勤務形態等について、他都市の状況等も参考に検討する。

まちづくり

第3回瀬戸内国際芸術祭

特産品である庵治石、盆栽、漆器を活用した関連事業の実施を検討

質問

平成28年開催の第3回瀬戸内国際芸術祭では、新たに「食」プロジェクトの強化などが盛り込まれているが、特色

ある産物のPRなど、本市として期待する内容は。

【市民会】

答 併

同芸術祭は、本市の食の魅力を国内外に発信する絶好の機会であると考えている。

今後、女木島・男木島など本市の会場での魅力的な同プロジェクトの展開を実行委員会に働きかけるとともに、特産品である庵治石、盆栽、漆器を活用した関連事業の実施を検討する。

高松海岸線街路事業

寿町交差点の西向き車線に直進専用車線を追加・拡幅する交差点改良工事を実施

平成10年に県が都市計画決定をしましたが、厳しい財政事情などから、22年に中止を決定しました。

質問

連立事業と密接に関連する高松海岸線街路事業は、本町踏切等の交通混雑解消などの点で特に重要だが、今後の取り組みは。

【同志会】

答 併

同街路事業のうち、寿町交差点から本町踏切間は、連立事業の中止に伴い、6車線化の計画実現が困難となったが、引き

続き、事業主体である県と連携を図り、実現可能な整備案を検討する。

また、寿町交差点は、来年度、四国電力本社付近から法務合同庁舎までの区間の西向き車線に新たな直進専用車線を追加・拡幅する交差点改良工事を実施する。



整備が待たれる本町踏切～寿町交差点周辺

コンパクト・エコシティ

立地適正化計画の策定に当たっては、地域関係者と議論を重ね、合意形成を図る

平成26年8月に都市再生特別措置法が改正され、市町村が、住宅や商業施設等の立地の適正化を図るために立地適正化計画を策定し、住宅等を一定区域に誘導できるようにになりました。

質問

本市が多核連携型コンパクト・エ

コシティを推進するには、その具体的な進め方を同計画に示しつつ、市民へ丁寧に周知し、合意形成を進めることが重要だが、その考えは。

【公明党】

答 併

同計画の策定に当たっては、本市が目指すべきまちづくりの方向性を市民や事業者と共有することが重要であることから、現状分析や将来推計など、客観的な情報等による丁寧な周知等に配慮する。その上で、市民や民間事業者等、地域の関係者と議論を重ね、合意形成につなげていく。



消防団員の処遇改善

平成27年度から年報酬額の引き上げを検討

平成26年4月に、総務大臣及び消防庁長官から市町村長に対し、消防団員の処遇改善等に積極的に努めるよう要請がありました。

質問

高齢化等で団員確保が困難となっている中、団員確保には年報酬の増額等、処遇改善が必要と考えるが、実施の考えは。

【市民会】

消防団員は、災害時の大変厳しい状況の中で、即時に長時間対応に当たっているが、その労苦に報いるためにも、年報酬額を引き上げるべきでは。

【同志会】

答 併

地域防災力の充実強化のため、団員確保は大変重要であり、災害時の懸命な防災活動の労苦に報いるためにも、処遇改善を図る必要があることから、他都市の状況などを踏まえ、27年度から年報酬額の引き上げを図る。



福祉・医療

新型インフルエンザ対策

具体的な対策を定めた対応マニュアルを作成

質問

本市では、平成26年11月、新型インフルエンザ等発生時の基本的な対策を定めた行動計画を策定しているが、実際に発生した場合には、より

具体的な対策が必要ではないか。

【自民党 議員会説】

同計画では、市の対策本部の設置をはじめ、未発生期や発生期などの段階ごとに基本的な対策を定めている。

今後、具体的な対策として、関係課の役割分担等を明確にするとともに、蔓延防止のための予防接種体制などを定めた対応マニュアルを作成する。

子供の貧困対策

貧困が世代を超えて連鎖しないよう、改善に向けた重点施策を総合的に実施

質問

平均的所得の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の子供の割合が、平成24年時点で16.3%と、過去最悪を更新するなど、子供の貧困問題が深刻化している。

このため、国では貧困対策の大綱を閣議決定し、実効性のある対策の必要性が鮮明となったが、本市の具体的な対策は。

【フリーラム社】

答弁

子供の貧困対策の計画策定を予定している県の動向を注視しながら、貧困が世代を超えて連鎖しないよう、生活困窮家

庭の中学生を対象とした学習支援など、子供の貧困の改善に向けた重点施策を総合的に実施する。

若者支援体制の充実

暮らしや仕事に希望と安心が持てる、細やかで切れ目のない支援方策を検討

質問

来春の市長選のマニフェストに、子ども・若者育成支援推進法に基づく協議会の設置などの若者支援体制の充実をうたい、若者から選ばれる都市づくりを行うべきだが、支援体制を充実する考えは。

【公明党】

答弁

本市が若者から選ばれるまちとなるには、就労支援のみならず、文化芸術の振興など、若者が生き生きと暮らせるための総合的な施策の展開が必要と考えている。

今後、同協議会などの設置を調査研究するとともに、若者が、暮らしや仕事に希望と安心が持てる、細やかで切れ目のない支援方策を検討する。

新病院

開院後も、リーディングホスピタルとしての役割を果たす

質問

本市新病院は、地域医療のリーディングホスピタルとして、本市の医療全体の最適化を目指しているが、その心構えは。

【自民党 議員会説】

答弁

市民病院では、組織が目指すビジョンとして、病院の基本理念である「生きる力を応援します」を策定し、その実現を目指し、3つの基本方針に取り組んでいる。

その結果、医療の質の向上として、日本医療機能評価機構のICU施設基準を取得したほか、患者満足度調査でサービスマイクスが図られたとの評価が得られた。今後、これらの取り組みを充実させ、新病院開院後もリーディングホスピタルとしての役割を果たしていく。



平成30年開院予定の新病院の完成予想図

医療介護総合確保推進法成立を受け、必要となる施設の整備などを検討

質問

平成26年6月に医療と介護のあり方を一体的に見直す医療介護総合確保推進法が成立し、医療分野では、病床を4区分に再編し、機能を明確にすることなどが定められた。医療提供体制の大改正とも言える同法を受けての新病院の建設及び運営への対応は。

【同志会】

答弁

医療と介護の連携果たす役割は重要であり、同法で市に求められる地域包括ケアの構築には、地域包括ケア病棟の設置などが必要だが、持続可能なまちづくりのために不可欠なので、整備スケジュールに支障のない範囲内で施設整備への反映を検討する。



平成27年度から全小中学校で夏季休業日を一週間程度短縮する方向で準備

昨年度から市内の3中学校で、土曜日を活用して、学習習慣の確立や学力の定着を図るためのモデル事業

を実施しています。また、今年度で市内全ての小中学校に空調設備が整備されます。

質問

土曜日の授業実施ではなく、夏休みを有効に活用して、学力の向上等を図るべきだが、来年度以降の夏休みのあり方は。

【同志会】



答弁

同モデル事業の成果を検証する中で、小学校では、スポーツ少年団との関係等から土曜学習の拡大は難しいという意見また、中学校では、教員の業務多忙化などの課題から夏季休業日の活用を求める意見があった。

そのため、来年度からは、全小中学校で夏季休業日を一週間程度短縮し、2学期の開始を早める方向で準備する。

一般質問

市政のさまざまな課題について、10人の議員が質問しました。

盆栽や庵治石等の地場産品の積極的なトップセールスを

井上孝志議員（詔貳鏡）

質問

本市の代表的工芸品である盆栽や庵治石等の地場産品の知名度アップのため、さまざまな機会を捉えて、積極的にトップセールスする考えは。



答弁

伝統的工芸品等を中心にPRする機会は限られているが、さまざまな機会を捉えて、国内外で流通に関わる事業者等に、本市の工芸品等の魅力を積極的

に訴えるなど、高松のブランド力向上に努める。
【他の質問▼公立学校の指導者・合併問題など】

香西地区の医師公社用地に公園の整備を

大橋光政議員（同志会）

質問

香西地区の2つの公園は、山頂等にあることから、地域住民が気軽に利用できないため、小中学校の近隣に立地し、市民病院の移転により不要となる医師公社用地に公園を整備する考えは。



答弁

香西地区は公園が少ないため、整備の必要性が高い地区である。同用地は、立地条件や面積規模も適当であり、市有地の有効活用も図られるので、今後、地域コミュニティ協議会等の意向を伺い、

病院局とも調整を図って検討する。

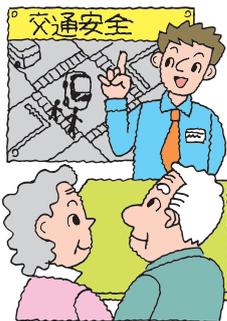
【他の質問▼観光振興・農業問題など】

交通安全への継続的な取り組みを

大西 智議員（柿ヶ根）

質問

平成26年11月末現在の本市の交通事故発生件数は、昨年同時期より489件減少したものの、死者数は3人増の16人となっており、交通安全への継続的な啓発活動等の取り組みが必要と考えるが、その対策は。



答弁

交通安全対策は喫緊の課題と認識しており、23年度に策定した第9次交通安全計画に基づき、国・県・警察等関係機関との連携を強化し、危機感を持って、ハード・ソフト両

面から対策を推進する。

【他の質問▼学校教育関係など】

スポーツ関連施設等を拠点としたウォーキング・ランニングコースの設定を

中村伸一議員（公明党）

質問

市民の健康づくりのため、スポーツ関連施設や公園を拠点としたウォーキングやランニングコースを設定する考えは。



答弁

本市の健康都市推進ビジョンでは、ウォーキングなどを健康づくりの具体的な取り組みとしていることから、屋島陸上競技場が屋島登山の拠点となるようなコースや、各種スポーツ施設等を拠点としたコース設定を検討する。
【他の質問▼宇宙時代の人づくり・防災教育など】

整備予定の動物愛護センターで命の教育の推進を

香川洋一議員（無所属）

質問

県と本市が共同整備の方針を示している動物愛護センターに、動物と触れ合える施設を併設し、動物との触れ合いで得られる体験が、命を大切にしている教育になると確信しているが、同センターで、このような命の教育を推進する考えは。

答弁

同センターは、動物愛護精神の普及が重要な役割の一つであるため、子供たちが命の大切さを学習できるように、今後、教育委員会等と連携しながら、施設整備に向けて県と協議する。

【他の質問▼メディアアーツ・職員不祥事など】



空港周辺に向けて電車等の軌道を有した公共交通整備を

佐藤好邦議員（自民党）

質問

本市南部地域への定住促進や高松空港の利用促進のため、空港周辺地域に向けて、電車等、軌道を有した公共交通を整備する考えは。



答弁

電車等の軌道整備や投資に見合う交通需要確保等の面で課題がある。

そのため、現行バス路線の再編など公共交通ネットワークの再構築に取り組み中で、地域特性や利用者ニーズに即した持続可能な公共交通のあり方を検討する。
【他の質問】▼若者定住等移住促進条例の制定など】

カマタマーレ讃岐に対し、さらなる支援を
白石義人議員（自民党）

質問

カマタマーレ讃岐は、来年度J2リーグ2年目に当たることから、1年目の支援の成果や課題も踏まえながら、さらなる支援を積極的に行うべきだが、今後の支援策は。

答弁

スポーツ施設の使用料助成など、これまでの支援策を実施するとともに、J2に加わる金沢市や徳島市のチームとの「親善都市ダービー」などを拡充し、入場者数の増加につなげるなど、今後、同チームが地域の誇りと愛着をもたらしチームとして定着するように、引き続き支援する。

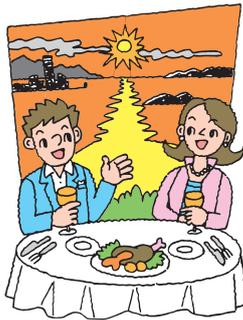
【他の質問】▼教育問題】



屋島の価値を再認識し、新たな観光資源として広く発信を
川崎政信議員（同志会）

質問

地域に根差した観光資源である屋島の魅力を、若い世代や多くの人々に語り継ぎ、継承すべきだが、その多面的な価値を再認識し、新たな観光資源として広く発信する考えは。



答弁

屋島は、山上からだけでなく、豊かな自然と歴史・文化等に富む本市の代表的観光地である。

このため、夕夜景を眺めながら食事等を楽しめるイベントの開催等、屋島の眺望を生かした取り組みを進めるとともに、その多面的な魅力と価値を広く国内外

に発信する。
【他の質問】▼職員の綱紀粛正・防災対策など】

母子のニーズに対応し、産後ケア事業の充実を
田井久留美議員（公明党）

質問

本市の産後ケア事業は、産後1カ月未満の母子が対象であるが、母親によって回復期間に個人差があることから、利用条件の拡充等、母子のニーズに対応し、同事業を充実させる考えは。



答弁

産後1カ月を超えても、育児不安や健康面の悩みを抱える母親は少なくないので、同事業のニーズ調査を実施するとともに、心身のケアを必要とする母子が切れ目のない適切なサービスを受けられるよう、対象期間の延長やデ

イケアの実施を検討する。
【他の質問】▼悪臭対策・若者の地方定住促進など】

市内で水族館の運営継続を
神内茂樹議員（自民党）

質問

新屋島水族館は、年間十数万人の観光客が訪れる重要な観光資源であることから、仮に同水族館の閉館が現実のものとなったとしても、市内に適地を選び、新たに水族館の運営を継続してもらう考えは。

答弁

同水族館の閉館日程等が定まっていないのであれば、何らかの形で屋島山上での運営を継続してほしいと考えており、今後とも、同水族館の運営母体である企業との話し合いを継続する。

【他の質問】▼道路行政など】



高松市議会基本条例について

■本条例は、前文のほか、第1章総則から第8章補則までの8章建て、全29条で構成しています。



●前文

本市で暮らす全ての人々の生活の質向上を目的とし、議会の活性化を積極的に推進するとともに、市政に対する市民意思の反映に全力を尽くしていくことを決意し、議会や議員が活動するための最も根幹となる指針として、条例を制定するものとしています。

●第1章 総則

議会が、その機能を發揮して市民福祉の向上等に寄与することを目的に、公平かつ公正な議論を尽くし、真の地方自治の本旨の実現を目指すものとしています。

●第2章 議会の活動原則等

開かれた議会運営、政策提案機能等の強化、議員問討議による合意形成を図り、政策提案等を積極的に行うとともに、大規模災害発生時において、市民の生命・財産等を守るため、議会としても危機管理に努めることとしています。

●第3章 議員の活動原則等

議員問討議の尊重や調査活動等を通じた資質向上を図り、特に、政務活動費に関しては、条例に沿った有効活用による調査研究の促進に努め、市民への使途の説明責任を果たすものとしています。

●第4章 市民と議会との関係

議会の審議状況の報告や市政に対する意見交換の場として、議会報告会を開催することとしています。

●第5章 議会と市長等との関係

二元代表制を踏まえ、市長等との緊張関係の保持により、監視及び評価機能を發揮するとともに、議会審議の活性化や、よりわかりやすい議会運営とするため、選択制による一問一答方式の採用、また、市長等への反問権の付与を併記しています。

●第6章 議会の機能強化

議決事件の拡大、議員研修の充実、議会改革の推進、議会事務局体制等、議会の機能強化を図るための諸規定を明記しています。

●第7章 議員定数及び議員報酬

議員定数の見直しに当たっては、人口・財政力等の将来予測等を十分考慮するとともに、市民からの意見聴取を行うものとしています。

●第8章 補則

常に条例の目的が達成されているかについて検証するとともに、必要に応じて条例内容について検討し、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとしています。

■平成27年4月1日施行予定で、条文は、市議会ホームページにも掲載しています。

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち18件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を、会派で意見が分かれている場合は△を表示しております。

件名	議決結果等	自民党議員会	同志会	市民フォーラム21	公明党	無所属		
						二川	香川	岡田
市長提案								
平成26年度高松市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度事業会計(2会計)予算(高松市病院事業会計補正予算(第2号)・水道事業会計補正予算(第1号))	可決	○	○	○	○	○	○	×
高松市長等の給料その他給与支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
高松市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
高松市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
高松市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
高松市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
平成25年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	○	×
平成25年度高松市水道事業会計決算について	認定	○	○	○	○	○	○	×
議員提案								
高松市議会基本条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×
陳情								
社会保障制度の拡充を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	○
医療費無料化制度の拡充など県に意見書提出を求める陳情	不採択	×	×	○	×	×	×	○
地域に必要な介護サービス確保のための財政支援を行うことなど国に意見書提出を求める陳情	不採択	×	×	○	×	×	×	○
政府による緊急の過剰米処理を求める陳情	不採択	×	×	○	×	×	×	○
農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情	不採択	×	×	○	×	×	×	○
年金削減の取りやめと最低保障年金の実現を求める陳情	不採択	×	×	○	×	×	×	○
消費税増税の中止を求める意見書提出を求める陳情	不採択	×	×	△ (賛成4/反対3)	×	×	×	○

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の活動など

●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

新病院等整備	10月8日	新病院整備スケジュール(案)、附属医療施設の整備場所、香川農業試験場跡地北側エリア整備について
総合防災対策	11月20日	危機管理センター(仮称)等建設実施設計(案)の概要について
決算審査	10月3・16・20・24・27・28・31日	平成25年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算、病院事業会計決算、水道事業会計決算、下水道事業会計決算について、いずれも認定することで審査を終了しました。

●議会運営委員会

今期中の議会基本条例制定に向けて、10月15日・23日、11月7日・19日に開き、議会運営の改善及び議会基本条例(案)について協議しました。

●議員全員協議会

11月28日、高松市議会基本条例(案)について協議しました。

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務消防	10月15日	大島振興方策(案)について
	11月19日	コトデン瓦町ビル利活用について
	12月18日	新朝日分署の基本設計(案)について
教育民生	11月28日	高松市子ども・子育て支援推進計画(案)について
経済環境	12月18日	高松市文化芸術振興計画(案)について

人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

●人権擁護委員候補者

馬場 彰文氏

テレビ番組放映のお知らせ

市民の皆様、議会に対する理解を深めていただくため、次のとおり市議会特別番組をテレビ放送いたしますので、ぜひご覧ください。

また、本放送の終了後、高松ケーブルテレビでの再放送と市議会ホームページでの動画配信も行います。

- タイトル 高松市議会特別番組「任期四年を振り返って」
- 放送日時 2月16日(月) 午後2時～午後2時30分 岡山放送(OHK)
- 出演 中村 順一(市議会議長)
鎌田 基志(自由民主党議員会会長)
大浦 澄子(同志会会長)
山崎 数則(市民フォーラム21会長)
山田 勲(公明党議員会会長)
- 再放送 ケーブルメディア四国(111ch)「CMS1」
2月23日(月)～3月1日(日) 正午～、午後10時～
- 動画配信 高松市議会ホームページ
2月17日(火)以降に配信予定

